

お申し込み先

www.pp.u-tokyo.ac.jp/EGRM/



要事前登録 / 参加費無料 / 日本語のみ

日時

2024年4月8日(月) 15:00-17:30

開催
形態

Zoom (オンラインのみ)
ご登録後に Zoom リンクをお送りいたします

申込
締切

2024年4月5日(金) 正午
定員に達した場合は、これより前に締め切ります

主催

東京大学公共政策大学院 (GraSPP)

共催

武蔵野大学国際総合研究所 (MIGA)

協賛

日本CFO協会

開催
趣旨

2014-15年の日本再興戦略を起点として日本企業の「稼ぐ力」を意識して始まった日本のコーポレートガバナンス改革は、これまで企業価値の持続的成長を目指して「攻めのガバナンス」と「守りのガバナンス」の双方の観点から種々の改革が進められてきた。具体的には、社外取締役の選任の増加とその在り方や取締役会の実効性と機能の検討、指名委員会・報酬委員会の設置、グループガバナンス、事業再編によるポートフォリオの見直し、エンゲージメント、開示の改善等種々の対応がなされてきた。一方で、当初の財務価値をベースとした企業価値の持続的成長に加えて、人的資源、知的財産等無形資産への投資や ESG, SDGs 等をも含めた非財務価値を重視する考え方も加わった。こうした中であっても、イノベーションを起こす新領域の開拓、持続的な質上げなどコーポレートガバナンスを取り巻く残された課題は多い。コーポレートガバナンス改革は、日本の経営の在り方や会社のカタチをどのように変革していくかという課題でもある。これまでの改革の流れを再評価し、残された課題について議論し、今後の進むべき方向性を探る。

コーポレートガバナンス 改革の再評価と 今後の企業経営の課題

15:00-15:10

開会挨拶 (10分) 林 良造 武蔵野大学客員教授 / 東京大学公共政策大学院アドバイザー

15:10-15:30

イントロダクション (20分) 中原 裕彦 東京大学公共政策大学院客員教授

15:30-16:30

パネルディスカッション1 (60分) 「コーポレートガバナンス改革の評価と課題」

パネリスト

宍戸 善一

一橋大学名誉教授 / 武蔵野大学法学部教授

住田 清芽

古河電気工業(株) 社外監査役 / 日清オイリオグループ(株) 社外監査役

武井 一浩

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業パートナー

中原 裕彦

東京大学公共政策大学院客員教授

日戸 興史

元オムロン(株) 取締役 執行役員専務 CFO 兼グローバル戦略本部長

モデレーター

藤田 純孝

オリンパス(株) 社外取締役・取締役会議長 / 伊藤忠商事(株) 理事・元代表取締役副会長

16:30-17:30

パネルディスカッション2 (60分) 「非財務価値等の評価と今後のエンゲージメント」

パネリスト

三瓶 裕喜

アストナリング・アドバイザー合同会社代表

Charles D. Lake II

アフラック生命保険株式会社代表取締役会長 / アフラック・インターナショナル取締役社長

中原 裕彦

東京大学公共政策大学院客員教授

林 良造

武蔵野大学客員教授 / 東京大学公共政策大学院アドバイザー

三和 裕美子

明治大学商学部教授 博士(商学)

モデレーター

藤田 純孝

オリンパス(株) 社外取締役・取締役会議長 / 伊藤忠商事(株) 理事・元代表取締役副会長

総司会

殿木 久美子

東京大学公共政策大学院学術専門職員 / リサーチ・アドミニストレーター (URA)



林 良造



中原 裕彦



宍戸 善一



住田 清芽



武井 一浩



日戸 興史



藤田 純孝



三瓶 裕喜



Charles D.
Lake II



三和 裕美子



殿木 久美子